

# 音楽科学習指導案

## 題材名「いろいろな音色を感じ取ろう」

令和4年6月24日（金）第○校時 音楽室

南牧村立南牧小学校 5年、6年 指導者 外所 聖貴

### ＜授業改善の視点＞

音楽づくりの集約解決の場面において、iPadのアプリ「ガレージシンド」を用いることで、音を音楽へと構成することが容易になり、つくりたい音楽に対しての思いや意図をもつことができるであろう。

### I 題材の構想

#### 1 題材の目標（育成を目指す資質・能力）および児童の実態

	題材の目標	児童の実態（8名）
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>各声部の楽器の音や全体の響き、伴奏を聞いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けることができる。</li> <li>音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能を身に付けることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な演奏技能を身に付けている児童とそうではない児童の差が大きい。</li> <li>反復や変化を用いた音楽づくりや和音の音を生かした音楽づくりを学習してきている。</li> </ul>
思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさを見だし、曲全体を味わって聴くことができる。</li> <li>器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつことができる。</li> <li>音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>曲や演奏のよさを見だし、曲全体を味わって聴くことができる児童は多い。</li> <li>表現の選択肢を示すことで、ふさわしい表現を工夫することができる。</li> <li>音楽づくりの発想を得ることができる児童が多いが、全体を意識することはできない。</li> </ul>
学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>主体的に音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものに行おうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽の諸活動に対し、意欲的な児童が多いが、同じ題材の中でも学習内容につながりを意識できる児童は少ない。</li> </ul>

#### 2 評価規準

##### 【知識・技能】

①楽器の音色や各声部の重なりによる響きと演奏の仕方との関わりを理解し、各声部の音や全体の響きを聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。 A表現（2）ウ（ウ）

②音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能を身に付けることができる。 A表現（3）ウ（イ）

##### 【思考・判断・表現】

①楽器の音色、各声部の重なりや響きなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、パートの重ね方や楽器の演奏の仕方を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 A表現（2）ア

②鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさを見だし、曲全体を味わって聴いている。 B鑑賞（1）ア

③音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。 A表現（3）ア（イ）

##### 【主体的に学習に取り組む態度】

①音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽、鑑賞、音楽づくりの学習に取り組もうとしている。

#### 3 題材計画および指導方針（指導に生かす評価は○、評定に用いる評価は●）

時	過程	学習活動	評価			指導方針・ICT活用
			知	思	主	
1	つかむ	「リボンのおどり（ラバンバ）」 ・各パートの旋律の特徴をつかんで演奏する。 ・題材の課題を知る。			●	・様々な音色の組み合わせや、パートの重ね方が生み出す効果についての意見を交流し、題材の課題を見出すことができる。
<b>題材の課題</b> いろいろな楽器の音色を感じ取ったことを生かして、運動会を盛り上げる音楽をつくらう						
2	追求する	「アフリカンシンフォニー」 ・打楽器によるリズムフレーズのくり返しによる良さや面白さを味わって聴く。		②	①	・打楽器のリズムを実際に体験しながら、聴くことで、リズムの繰り返しが伴奏となり、旋律が変化していくことをつかめるようにする。
3		「リボンのおどり（ラバンバ）」 ・重なり合う響きの変化の面白さを生かして、表現の工夫をする。	①	●		・様々な音色の組み合わせや、パートの重ね方についての効果を試しながら、よさや面白さを捉えられるようにする。

4	「ドラムマーチをつくろう」 ・楽器の響きや音色の組み合わせを楽しむ。		①	・実際に音を出しながら考えることで、楽器や鳴らし方に合うリズムを選ぶことができるようにする
5 本時	・反復、呼びかけとこたえ、変化、音楽の縦と横との関係について知り、音楽の仕組みを生かしてドラムマーチをつくる。		③	・どのように表現したいかの思いや意図を共有しながら、常に更新できるようにする。 ・リズムパターンの動画を活用し、すぐに構成できるようにしておくことで、全体を構成する時間を多く確保できるようにする。
6 ま と め る	・ドラムマーチを完成させ、動画を撮る。 ・題材全体の学習を振り返る。	②	①	・中間発表を設定し、良かったところを自分たちの作品に生かせるようにする。

**本時の学習 第5時**

**<ねらい>** 音楽の仕組みを生かしたドラムマーチをつくる活動において、全体のまとまりを意識した音楽に対する思いや意図をもつことができる。

学習活動	指導上の留意点・ICT活用
<p><b>1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。(5分)</b></p> <p><b>&lt;めあて&gt;</b> ・思いや意図をもちながら、音楽の仕組みを生かしたドラムマーチをつくろう</p>	<p>・本時からつくり始める曲を運動会の鼓笛隊で演奏することを児童に再度伝えることで、本時の学習に必要感をもたせる。</p> <p>・思いや意図をもち、工夫した作品の例を見せることで、本時のめあてをつかませる。</p>
<p><b>2 自分たちのドラムマーチについてどのようにつくりたいか話し合いながら、いろいろな重ね方を試す。(15分)</b></p> <p>T：盛り上がっていくようにするには、どのようにしたらいいですか。 S：楽器を増やしていくといいかな。 S：全部のパートがそろおうといいな。 T：全体を意識してドラムマーチをつくりましょう。 S：はじめは楽器をあまり重ねない方がいいな。 S：最後はだんだんそろっていくようにしたいな。</p>	<p>・ワークシートを活用することで、思いや意図を常に更新できるようにする。</p> <p>・付箋紙を活用することで、パートの重ね方を視覚的に確認できるようにする。</p> <p>・リズムパターンの動画を編集することで、再現する時間の短縮や再現の正確さを図るとともに、いろいろな重ね方を試すことができるようにする。</p> <p><b>【評価規準】</b> <b>【思考・判断・表現】</b>（ワークシート・発言・観察） 全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについての思いや意図をもっている。</p>
<p><b>3 選んだ楽器とリズムを使い、音楽の仕組みを生かして、自分たちのドラムマーチをつくる。(20分)</b></p> <p>T：音楽の仕組みを生かしたドラムマーチをつくりましょう。 S：最初の一つの楽器だけで始めたいな。 S：会話しているように交互に演奏したいな。</p>	<p>・音楽の仕組みを例示することで、アイデアを膨らませられるようにする。</p> <p>・中間発表をすることで、他のグループの思いや意図を生かした工夫を参考にできるようにする。</p>
<p><b>4 本時のめあてに対する学習内容を振り返る。(5分)</b></p> <p><b>&lt;振り返り&gt;（視点：今日意識したこと）</b> T：今日、曲をつくった中で、意識したことはなんですか？ S：自分の思いが形になるように、音楽の仕組みを使うようにしたことです。</p>	<p>・指導事項や学習内容に合わせて、学びを実感できる振り返りの視点を提示する。</p>